

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館		■担当係	鬼の館
■評価事業名称	伝統文化継承事業			
■事業開始年度	平成6年度			
■評価事業コード	402300 - 006	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進		
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	民俗芸能の保存伝承と後継者育成の一助となり、鑑賞者の伝統文化に対する意識が向上する。解説を交えた鬼剣舞公演や大乘神楽団体の総合的な公演、地域の慣習等を参加体験型で紹介する催事等を開催する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	芸能公演	一般	●開催回数 14回 ●見学者数1,700人	●開催回数 14回15団体●見学者数1,837人
02	大乘神楽大会	一般	●開催回数 1回 ●出演団体数7団体 ●見学者数300人	●開催回数 1回●出演団体数8団体 ●見学者数181人
03	福豆鬼節分会	一般	●開催回数 1回 ●入場者数4,500人	●開催回数 1回 ●入場者数 4,266人●出演団体 7団体

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	1,617	1,748	1,468	1,378	
人件費	4,410	4,021	4,055	4,386	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,027	5,769	5,523	5,764	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	全公演回数	14回	16回	23回	16回	年間の芸能公演回数(芸能公演、大乘神楽、節分会)
02	出演保存会	28団体	28団体	37団体	32団体	出演した保存会数(芸能公演、大乘神楽、節分会の数)
03	見学者数	4,950人	5058人	7,567人	6,284人	全公演の見学者数の総数
04	出演1団体当たりコスト	215.25	206.03	149.27	180.12	フルコスト÷02
05	見学者1人当たりコスト	1.21	1.14	0.72	0.91	フルコスト÷03

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

各保存会と連携し、公演にテーマを定め、見所や由来などを解説することで、民俗芸能の担い手の意識向上と鑑賞者の関心喚起を図ることができた。

問題点・課題等

大乘神楽公演について、開演から閉演まで通して鑑賞している人が増えているものの、鑑賞者数が減少しているため、周知を工夫する必要がある。また、青少年の出演がなく、後継者育成の機会に発展していない。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

大乘神楽公演に青少年が出演する演目を設け、後継者育成の機会を図る。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了